

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

『明日への扉』と『有終の美』

池北の歴史とこれまでの取組みを継承し、確かな学力、豊かな感性、社会性を育成するとともに、生徒が夢を持ち羽ばたく気持ちで本校を巣立っていけるよう、閉校年度まで【チーム池北】として日々あり続ける学校をめざす。

- 『明日への扉』
- 1 生徒の一人ひとりに確かな学力と豊かな感性、社会性を育成する。
 - 2 きめ細かな対応により生徒一人ひとりの良さを引き出すことで自己肯定感を高め、生命と人権を尊重した教育活動を展開する。
 - 3 充実した音楽専門コースおよびキャリア教育を継承しながら、積み残しのない進路指導を実践する。
- 『有終の美』
- 4 「明るく閉じる」をキーワードにして、閉校に関する企画・運営に前向きに取り組む。

2 中期的目標

- 1 確かな学力と社会性の育成
 - (1) 生活習慣・学習習慣の定着

ア：遅刻指導、頭髪・服装指導、授業規律指導等に関して、これまでに継続しながら組織的に取り組み、きめ細かな指導を行う。
 - (2) 学び直しの強化

ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒が学び直す意欲を持つよう粘り強く指導していく。

イ：池北オリジナルエンパワー教材を活用した指導を行う。
 - (3) わかる喜びが散りばめられた授業づくり

ア：授業づくりに関して、教科内は当然のこと、教科を越えた意見交換ができる同僚性のある職場集団を形成する。
- 2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導
 - (1) 機能的な相談体制と情報共有

ア：チーム池北として全ての生徒に寄り添えるよう、特にタイムリーな情報共有を重要ポイントとしていく。
 - (2) 自己肯定感の向上

ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒自身が見守られている安心感を持ち、自己肯定感を高めながら取り組める対応をめざす。

※1・2を通して、年度途中の転・退学者の割合を3%以下に抑える。
- 3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導
 - (1) 充実した音楽コースの維持

ア：これまでの取組みを継続し、音楽コースで学ぶことを通して進路を実現させ、池北生であったことにプライドを持つ指導を行う。
 - (2) 最後まで見守るキャリア教育の継続

ア：校内における進路指導はこれまでの実績のあるキャリア教育を維持するとともに、閉校年度までこれまでと変わらず求人や指定校等が生徒に提供できるよう取り組んでいく。

イ：要支援生徒に対する進路指導において、段階をふんだきめ細やかな対応と様々な制度等を活用した助言・指導を行っていく。

※卒業時の進路未定者を3名以下とし、最終年度には0とする。
- 4 明るく元気な池北ファイナル
 - (1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北

ア：画期的な授業展開や独創的な発想にたった学校行事等の企画、運営など、生徒がワクワク感のある学校生活を送ることを目標に取り組む。
 - (2) 教職員が明るく元気に取り組める池北

ア：一般的な高校での学校生活が維持されることは当然で、加えて他にはできない取組みを支援する手段を構築することで、教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす。
 - (3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北

ア：閉校に向けた企画、閉校行事をはじめ、池北での思い出を残す取組みと「池北」という名前を残す跡地活用を考えていくことで、未来が感じられる閉校までの期間を提供する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 1 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>▽2学年だけの在籍となったが、以下の項目で昨年度より肯定感が向上していることに安堵感がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「池田北高校に進学してよかった」 (生徒肯定率 H27 70.4% ⇒ H28 76.7%) ・「学校に行くのが楽しい」 (生徒肯定率 H27 61.7% ⇒ H28 65.3%) ・「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」 (保護者肯定率 H27 77.6% ⇒ H28 79%) ・「文化祭や体育祭などの学校行事は、楽しく行えるように工夫されている」 (生徒肯定率 H27 51.3% ⇒ H28 61.1%) ・「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」 (生徒肯定率 H27 53.3% ⇒ H28 58.6%) <p>▽教職員の自己診断において、「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」の肯定率が96.2%となったことは、『明るく元気な池北ファイナル』が教職員全体で実践できていることが実感できた。</p> <p>▽肯定率の向上をめざしていた項目「授業はわかりやすく楽しい」で、昨年度と変わらない49%であったことを受け止め、最終年度も更なる工夫を重ねていかなければならない。</p>	<p>○第1回（6月24日開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年だけになった体育祭（6/4開催）終了後の開催のため、体育祭を中心とした意見が多くなったが、当日参加をした協議会委員を含め「生徒たちの弾ける笑顔が見れた・寂しさを感じなかった・民間委託（運動会屋）の利用が良かった」など好評価を頂き、同時に今年度の池北に安心をしてもらえた。 ・文化祭への期待に加えて、閉校まで生徒たちに変わらない学校生活・授業等を確保するために学校としてやりたい事をどんどん進めていくよう激励を受けた。 <p>○第2回（11月11日開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭での新しい取組みも評価でき、七夕かざりや草抜き、芸術鑑賞会など生徒たちを巻き込んで新しいことを進めてくれている報告が聞けるのは楽しみである。 ・生徒と教員の関わりが他校に比べて濃くなり、絆が深まっていることも財産だ。 ・自分たちの卒業式への積極的な関わりと感じられる3年生の動きも嬉しいことだ。 ・『明るく元気な池北ファイナル』を周りでも実感できている。 ・生徒たちの自己肯定感を高める取組み（15メント日記）に期待をしている。 <p>○第3回（2月21日開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断結果より、生徒及び保護者の満足度が向上している項目が評価された。 ・生徒たちに「自分たちが池北の最後を担っている」という意識の高まりを感じる。 ・教職員の自己診断結果で、「全くあてはまらない」の回答が数%でもあることに疑問を感じてしまう、と指摘を受けた。 ・『明るく元気な池北ファイナル』に今後も期待し、応援をしていると激励された。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力と社会性の育成	<p>(1) 生活習慣・学習習慣の定着 ア: 遅刻指導・授業規律に関する組織的な取組み</p> <p>(2) 学び直しの強化 イ: 池北オリジナルエンパワー教材の活用</p> <p>(3) わかる喜びが散りばめられた授業 ア: 授業づくりに関する教科を越えた職員集団の形成</p>	<p>(1) ア: これまでのカード指導を継続していく。 ・授業に入る際の準備等の指導を更に徹底する。 ・遅刻指導での校長訓告を減らす。</p> <p>(2) イ: 市販教材やネット教材などを活用し、幼児教育～中学校分野までの学び直しに対応した個別教材に近い池北オリジナルエンパワー教材を作成し活用していく。</p> <p>(3) ア: 「学年授業づくりミーティング」を開催し、新しい工夫やユニバーサルデザインの活用についての情報交換を行う。また、情報交換の場として職員室中央にPC業務もできるサロンスペースを確保する。 ・空き教室を「ICT Room(IR)」として整備し、機器操作を苦手とする教員も設定準備等不要で利用でき、また教科を越えてサポート可能、教員の研修の場としても活用する。</p>	<p>(1) ア: 遅刻指導での校長訓告を懲戒全体の1割とする(H27 2割)</p> <p>(2) イ: 授業アンケートにおける「生徒意識1」の肯定意見の上昇(H27年度3.0 ⇒H28年度3.3)</p> <p>(3) ア: 学校教育自己診断(教職員版)「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」の〈あてはまる〉の回答率の上昇(H27年度29.6% ⇒H28年度40%)</p>	<p>(1) ア: 訓告を含む懲戒件数が7件と昨年度の1割弱となった。そのうち、遅刻指導による校長訓告が2件という現状は、懲戒全体の3割近くを占めていることになるが、総合的な判断ではルールを守れる学校環境が整備された、と言える。(○)</p> <p>(2) イ: 授業アンケートにおける「授業分析」は向上傾向にあるにも関わらず、「生徒意識1」の肯定意見については下降してしまった。2学年だけの在籍、変化の少ない日常などの影響の有無は不明であるが、残念な結果であった。(△) (H27年度 3.0 ⇒H28年度 2.9)</p> <p>(3) ア: 職員室中央に設けたサロンスペースが想定以上に活用されたことも1つの要因と思われる結果がでた。「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」の〈あてはまる〉の回答率 H28年度 よくあてはまる 30.8% ややあてはまる 57.7% (○)</p>
2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導	<p>(1) 機能的な相談体制と情報共有 ア: 「チーム池北」体制とタイムリーな情報共有</p> <p>(2) 自己肯定感の向上 ア: 学校生活のあらゆる機会を通して見守られる安心感を与えるとともに自己肯定感を高める</p>	<p>(1) ア: これまでの人権、支援そして教育相談体制を基に構築した情報共有システムを継続し、更にタイムリーな共有と確認ができるツールにしていく。 ・生徒だけではなく教職員も、誰とでも相談できる体制を構築する。</p> <p>(2) ア: 日々の学校生活の中で「自分をほめる」振り返りをさせ、教職員と共有するという取組みを実施してみる。</p>	<p>○年度途中における転学・退学者数の減少(H27年度2月末現在 年度当初より7%減) ⇒5%減以内にとどめる。</p> <p>○新しい取組みや体制作りの実践を指標とする。</p>	<p>○すでに進級や卒業が危ぶまれる状況にあっても、最後まであきらめず登校している姿があり、年度途中における転学・退学者数は減少している。(H28年度2月末現在 年度当初より2.3%減) (○)</p> <p>○12月より32期生(2年生)を対象に、㊦メント日記の試行を始めた。1日を振り返り、生徒各自が該当する「褒めスタンプ」を押し、週末に教員に提出し、褒めるコメント(㊦メント)を記入するもの。来年度も継続していき成果をあげたい。(○)</p>
3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導	<p>(1) 充実した音楽コースの維持 ア: 充実した音楽コースの取組みの継続</p> <p>(2) 最後まで見守るキャリア教育の継続 ア: 校内における進路指導の継続と求人や指定校等の提供維持に向けた取組み</p>	<p>(1) ア: これまでの音楽コースの公開講座等の取組みを継続し、音楽専門コースの専門性を高める選択授業の変わらぬ提供と充実を図る。</p> <p>(2) ア: 進路指導部だけではなく、学校全体でこれまでのキャリア教育・進路ならびに就職指導に関わっていく体制で取り組んでいく。 ・これまでに求人や指定校を提供してくれていた企業や大学等への丁寧な説明や依頼を、企業や学校訪問等を通して学校全体で行う。</p>	<p>(1) ア: 音楽専門コース生は昨年度よりほぼ倍増し、学ぶ分野も多岐に渡っているが、講師の確保を含め専門性を維持した授業の確立と選択者の進路実現</p> <p>(2) ア: これまでと変わらない求人依頼企業数ならびに指定校推薦の大学数の確保 (H27年度3年生129名 求人企業数87社 指定校数(4大&短大)82校 ⇒H28年度3年生126名 昨年度と同等の企業数と指定校数を確保する)</p>	<p>(1) ア: 31期生(3年生)専門コース16名と32期生(2年生)音楽コース24名の授業及び公開講座や発表会など、これまで通りに実施できた。(○) 31期生(3年生)のこれまでと変わらない取組みを参考にし、最終年度の音楽専門コースも17名となったと考えられる。</p> <p>(2) ア: 進路指導部だけではなく全教員で企業訪問を行った成果もあり、昨年度とほぼ変わらない企業数と指定校数を確保することができた。(○) H28年度3年生123名 求人企業数81社 指定校数72校 (*指定校数減については短大が取りやめた影響)</p>
4 明るく元気な池北ファイナル	<p>(1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北 ア: 生徒がワクワク感を感じる学校生活を送ることを目標とする</p> <p>(2) 教職員が明るく元気に取り組める池北 ア: 教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす</p> <p>(3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北 ア: 卒業生等が楽しさと未来を感じられる閉校までの期間を提供する</p>	<p>(1) ア: 2学年での学校行事でも寂しさを感じさせない取組みにするため、卒業生・保護者・地域は勿論のこと、高大連携の活用や民間企業の利用も含めて企画していく ・在籍生徒の出身中学校との連携も継続し、近況報告等を含め情報発信を続けていく。</p> <p>(2) ア: できない、やれないといった否定的な発想を捨て、絶対やってみよう!のチャレンジ精神で教職員の取組みを支援する職場集団を形成する。</p> <p>(3) ア: ホームページの活用による情報発信に、卒業生からの返信ができるシステムを構築する。 ・池北のある伏尾地区の活性化も考えていく。</p>	<p>○「明るく閉じる」の実感・閉校に向けた委員会「池北ファイナル」を検討の場とし、これまでを継続しながらも新たな企画をどんどん発信していく。 ・できる限り行事後に生徒等にアンケートを実施して、数値面からも実感できるようにしていく。 ・ホームページを計画的に改修し、卒業生から返信できるシステムを実現する。</p>	<p>○『明るく元気な池北ファイナル』を実践した。(○)</p> <p>体育祭 民間委託(運動会屋の活用) 高大連携(梅花女子大学チア演舞) 生徒アンケート: とても良かった(42%) 良かった(35%)</p> <p>文化祭 高大連携校5校の協力(模擬店等) 教員による校門アーチ作成 生徒アンケート: 満足した(66%)</p> <p>その他 横断幕作成・七夕飾り・全員で草抜き 花壇の整備・CATS鑑賞・校内イルミネーション 在籍中学校への文書連絡(計3回・校長手書き)</p> <p>池北ファイナル(閉校検討委員会) 月2回開催/自主的参加メンバーにより倍増 職員会議を活用して校長より報告し情報共有</p> <p>・ホームページを活用した卒業生への情報発信については思うように進まず、人脈に頼った発信にとどまっている。(△)</p>